

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 5 日 (2007.4.5)

【公開番号】特開 2006-45418 (P2006-45418A)
 【公開日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-007
 【出願番号】特願 2004-230651 (P2004-230651)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 53/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/521 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 53/00

C 0 8 K 5/521

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 16 日 (2007.2.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 25 未満のガラス転移温度 (T_g) を有する (メタ) アクリル酸エステルを主体とする重合体ブロック (a₁) を少なくとも一つと、25 以上の T_g を有しかつ重量平均分子量が 50000 以下である (メタ) アクリル酸エステルを主体とする重合体ブロック (a₂) を一つ以上有するアクリル系ブロック共重合体であって、該ブロック共重合体全体の重量平均分子量が 6000 ~ 70000 の範囲であり、そして分子量分布が 2 以下であることを特徴とするアクリル系ブロック共重合体 5 ~ 95 質量部、

(B) 非ハロゲン系難燃剤 95 ~ 5 質量部 (但し、アクリル系ブロック共重合体 (A) と非ハロゲン系難燃剤 (B) の合計量は 100 質量部である) および

(C) アクリル系ブロック共重合体 (A) 以外の熱可塑性樹脂を 100 質量部以下
 を含有する難燃性アクリル系重合体組成物。

【請求項 2】

J I S K 6 2 5 3 に準拠して測定した J I S - A 硬度が 30 ~ 95 の範囲であることを特徴とする請求項 1 に記載の難燃性アクリル系重合体組成物。

【請求項 3】

アクリル系ブロック共重合体 (A) 全体の重量平均分子量が 20000 ~ 100000 であり、アクリル系ブロック共重合体 (A) が重合体ブロック (a₁) と重合体ブロック (a₂) のみから構成されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の難燃性アクリル系重合体組成物。

【請求項 4】

アクリル系ブロック共重合体 (A) が、アニオン重合または原子移動ラジカル重合により得られた共重合体である請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の難燃性アクリル系重合体組成物。

【請求項 5】

アクリル系ブロック共重合体 (A) が、有機アルミニウム化合物存在下でのアニオン重合により得られた共重合体である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の難燃性アクリル系重合体組成物。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の難燃性アクリル系重合体組成物を用いた樹脂加工布帛。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の難燃性アクリル系重合体組成物を用いた電線被覆材。